

令和8年5月13日

各位

会社名 株式会社アイビー化粧品
代表者名 代表取締役社長 白銀 浩二
(コード番号 4918 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 経営管理部 部長
役職・氏名 中山 聖仁
電話 03-6880-1201

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和8年2月10日に公表致しました業績予想を、下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

記

令和8年3月期通期 業績予想数値の修正(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,850	380	380	315	47.52
今回発表予想(B)	2,641	195	192	164	22.45
増減額(B-A)	△209	△185	△188	△151	
増減率(%)	△7.3	△48.7	△49.5	△47.9	
(ご参考)前期実績 (令和7年3月期 通期)	2,929	422	420	43	2.44

(注)1株当たり当期純利益の計算は、普通株式の期中平均株式数を計算しております。また、当期純利益からA種優先配当の会計期間に係る支払想定額を控除しております。

修正の理由

令和8年3月期の売上高の推移は、大型新製品がなかったこと、営業所やBMの増設が低調に推移し、大変苦戦しました。強化製品の「レッドパワー セラム」につきましては、出荷数 18,058 セット(前事業年度 17,903 セット)と復調してきた一方、第4四半期における強化製品「ホワイトパワー セラム」(医薬部外品)については、10,529 セット(前事業年度 10,710 セット)と軟調に推移しました。また、レギュラー製品についても、軟調に推移しました。

一方、利益面におきましては、資材・原料価格の上昇の影響もあり、売上原価率は30.2%(前事業年度 29.5%、+0.7P)となりました。その結果、売上総利益は、売上高が減収となったこともあり、前事業年度減となりました。販売費及び一般管理費につきましても、経費使用方針に基づく予算管理を徹底したものの、諸物価高騰の影響もあり、前事業年度比0.2%増となりました。

以上の状況を踏まえ、令和8年3月期通期業績予想につきましては、売上高予想 2,850 百万円を 2,641 百万円に、営業利益予想 380 百万円を 195 百万円に、経常利益予想 380 百万円も 192 百万円に修正致します。当期純利益予想につきましては、315 百万円を 164 百万円に修正致します。

(将来に関する記述等についての注意点)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上